

学校教育目標

郷土を愛し、これからの時代を主体的・創造的に自立して生きる生徒の育成
「自律」から「自立」へ 『明日もまた 自立の心 東中!』

めざす生徒像

- ・自らの夢や目標に向かって主体的に学ぶ生徒
- ・自他を大切にし、協力し合える生徒
- ・健康でたくましい生徒

めざす学校像

- ・生徒・保護者・地域から信頼される学校
- ・いじめのない笑顔あふれる学校
- ・母校愛・地域愛に満ち、保護者や地域と共に歩む学校

めざす教師像

- ・生徒の成長を第一に考える愛情ある教師（美点凝視）
- ・生徒と共に汗する熱意ある教師（師弟同行・率先垂範・流汗悟道）
- ・生涯学び続ける教師（創意と工夫）
- ・組織の一員として協働できる教職員

◎ 経営の重点 「挨拶」「返事」「掃除」「笑顔」「感謝」

① 夢をかなえる確かな学力の育成に努める。

- ・基礎的・基本的な内容を大切に、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に努める。
- ・道徳教育の共同研究・共同実践を通じて、自己の生き方について考えを深め、心豊かな生徒の育成に努める。
- ・「学習の手引き」を活用し、各教科の学習の見通しを持ち、生徒が主体的に学習に取り組めるよう努める。
- ・将来に向けての目標を持ち、様々な体験活動等を活用したキャリア教育の充実に努める。
- ・家庭学習の充実に向け補足的・発展的課題を工夫し、家庭との連携に努める。
- ・図書室や学級文庫、東金図書館等を有効に活用し、読書活動の充実に努める。

② 自他を大切に、豊かな人間性や社会性の育成に努める。

- ・集団生活の中で自己の役割や責任を自覚し、東中や地域の一員としての帰属意識を高め、将来の社会人としての必要なルールやマナーを身につけるよう努める。
- ・思いやりのある豊かな心を育むため、「福祉教育」を通じた体験活動や道徳教育の充実に努める。
- ・自治的な活動を重視し、生徒自らがよりよい学校生活を築こうとする態度の育成に努める。
- ・生徒と向き合う時間を大切に、日々の清掃活動を通じて、安心・安全できれいな環境づくりに努める。

③ たくましく生きるための健康や体力の育成に努める。

- ・教科体育や部活動を含め教育活動全体において、生涯を通して心身の健康を保持するための資質・能力の育成に努める。
- ・長寿命化時代に向け、生涯にわたり健康に活動できるよう、望ましい食生活を実現しようとする態度の育成に努める。
- ・安全な生活を意識し、災害時の的確な判断や避難行動ができる生徒の育成に努める。

④ 家庭や地域に信頼される学校づくりに努める。

- ・学年間、分掌間の連携を密にし、教職員が互いに他者を理解し合い、協働することで組織力の向上に努める。
- ・地域連携室を創設し、積極的に地域との交流等により、家庭や地域の要望を把握し、家庭・地域・学校の連携・協働の推進に努める。
- ・ホームページや学校・学年だより、区長回覧等を活用した積極的な情報発信により、開かれた学校づくりに努める。

ポストコロナにおける教育活動の推進

- 「学校教育」「東中の強み」を生かした教育活動の展開
- 「地域愛」「母校愛」を育む！⇒地域との積極的交流
- チーム東中を目指して⇒東中を好きになる！（帰属意識）

学校の概要

1. 沿革(年度)
- 昭和61年 東金中学校から分離し、東金市立東中学校開校
校歌・校章発表会 PTA設立総会
 - 62年 武道館・プール完成
 - 63年 県教育委員会進路指導公開研究会・校舎進入路完成
 - 平成元年 武道館完成・県緑地推進委員会からイヌマキの垣根及びつどいの広場植栽完成
 - 2年 県教育委員会指定 教育放送公開研究会
 - 3年 県教育委員会指定 福祉教育推進校
 - 4年 市指定 生涯教育推進校
 - 6年 福祉教育推進校研究発表会
 - 7年 県教育委員会指定 環境教育推進校 創立10周年記念式典
 - 8年 学級増によりプレハブ校舎6教室増築 環境教育推進校指定
 - 9年 県教育委員会指定 適応指導推進校 千葉県教育研究会音楽研究大会発表会場
 - 10年 県教育委員会指定 東金地区中高一貫教育実践協力校
 - 13年 校舎階段手すり工事
 - 14年 表裏門扉工事
 - 15年 文部科学省 放課後学習チューター調査研究協力校
 - 16年 少人数学級研究校
 - 18年 プレハブ校舎解体 開校20周年記念事業
 - 20年 文部科学省指定（国立教育政策研究所）生徒指導総合連携事業の拠点校
 - 22～23年 県教育委員会指定 山武地区不登校対策拠点校
 - 23年 吹奏楽部 県吹奏楽コンクール金賞・日本管楽合奏全国大会最優秀賞
 - 24年 吹奏楽部 打楽器アンサンブル全国大会最優秀賞
千葉県教育研究会 国語教育研究大会発表会場
 - 25年 日本管楽合奏コンテスト全国大会最優秀賞
 - 26年 ジュニア打楽器アンサンブルコンクール全国大会優秀賞
東金ブロック体育研究会会場
 - 27年 創立30周年記念行事マスコットキャラクター「ひがっちゅう」制作
 - 28年 体育館屋根修理
 - 29年 体育館バスケットゴール交換 全校トイレ洋式工事
 - 30年 各教室エアコン設置
 - 令和元年 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休校
 - 2年 各教室テレビ配置
 - 3年 乗用草刈り機購入
 - 4年 けやき広場インターロッキング一部改修

2. 学区の概要

本校は、昭和61年開校から、本年創立37年目を迎える。学区は、九十九里平野のほぼ中央部に位置し、北部の丘陵地と南部の平坦地からなり、田間地区、公平地区、豊成地区の3地区で構成されている。生徒の大半は東小学校と豊成小学校からの入学である。地域は、開校後新居住者の流入により生徒数が漸増してきたが、近年は減少傾向にある。

保護者並びに地域住民の学校教育に対する関心は高く、学校行事や地域行事、PTA行事等に協力的である。生徒は、素直で純朴な子が多い。部活動が活発で、様々な教育活動での意欲化につながっている。

3. 学級編成 (5月1日現在)

		1年	2年	3年	けやき	合計
学級数		4	5	4	2	15
生徒数	男	63(3)	85(2)	62(2)	7	217
	女	68(2)	74(1)	61(0)	3	206
	計	131(5)	159(3)	123(2)	10	423

けやき学級：()内数

教育課程の編成

- 1 編成の方針
- 教育課程の一般方針に従うとともに、本校の教育目標「郷土を愛しこれからの時代を主体的・創造的に自立して生きる生徒の育成」の達成に向け、以下の事項に特に配慮をして編成する。
- (1) 各教科領域の学習内容の関連性を考慮し、全体計画と指導計画を工夫する。
 - (2) きめ細やかな指導により基礎・基本の定着を図る。
 - (3) 言語活動の充実を通じた思考力・判断力・表現力の育成を図る。
 - (4) 体験活動の充実を通じた豊かな人間性の育成を目指す。
- 2 編成上の留意点
- (1) 授業時間
 - ・1単位時間50分
 - ・年間の各学年総授業時数1015時間
 - (2) 各教科の充実
 - ① 単元ごとの評価基準を生徒に示し、生徒一人一人が目標をもって授業に取り組めるようにする。また、その目標に対する自己評価を実施することで、自己教育力の育成に努める。
 - ② 年間指導計画に沿った、単元計画、週計画をたてることで、計画的な授業実践に努める。
 - ③ 各教科において、言語活動の充実に努める。
 - (3) 総合的な学習の時間の計画的な実施
 - ① 総合的な学習の時間のねらい
 - ・課題設定能力の育成
 - ・問題解決能力の育成
 - ・プレゼンテーション（表現）能力の育成
 - ・自己の成長を見つける力の育成と言語活動の充実
 - ② 総合的な学習の時間の全体計画及び年間指導計画の作成
 - ③ 各学年の単元名と時数
 - 1学年…50時間
 - ・自分のよさ、友だちのよさを知ろう。
 - ・未来予想図を作ろう。
 - 2学年…70時間
 - ・見つけよう、新しい自分を。
 - ・適性、適職、自分を活かす。
 - 3学年…70時間
 - ・我ら日本の心 ～温故知新～
 - ・ONLY ONE
- (4) 特別活動
 - ① 学級活動…話し合い活動を充実させ、主体的に問題解決できる力の育成を図る。ガイダンス機能の向上を図り、進路指導や生徒指導の充実を図る。
 - ② 生徒会活動…生徒の自治的活動推進をめざし、生徒集会等の時間を確保するように努める。
 - ③ 学校行事…生徒の実態に応じて適切に時数を定める。また、儀式や体育祭、合唱コンクール、その他の行事をPTAや地域との連携を図る。
- (5) 道徳
 - ・道徳推進会議を核として、授業の質の向上に努める。
 - ・教育活動全体を通して、生徒の発達段階や特性等を考慮した指導に努める。
 - ・県の映像資料を活用する。
 - ・各教科において道徳との関連を意識する。